

雨水（うすい）



2月19日頃（2026年は2月19日）。および**啓蟄**までの期間。

太陽黄径330度

立春から数えて15日目ごろ。

厳しい寒さも少し緩んで、空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になるという意味。

草木が芽生える頃で、昔から農耕の準備を始める目安とされてきました。**春一番**が吹くのもこの頃です。

しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、大雪が降ったりもします。

三寒四温を繰り返しながら、春に向かっていきます。

地方によっても違うようですが、この日に雛人形を飾ると良縁に恵まれるといわれています。

三寒四温（さんかんしおん）

寒い日が三日ほど続くと、その後四日間ぐらいは暖かいということ。これを繰り返しながら、だんだん暖かくなり、春へと向かいます。

もともと、中国北部や朝鮮半島の冬の気候を表す言葉で、後に日本に伝わりました。

過ごし方

・雛人形の飾り付けをしましょう。この日に飾ると良縁に恵まれるといわれています。

季節の言葉

❖ 薄氷（うすらひ・うすらい）

春が近づき始めたころに張る薄い氷のこと。「はくひょう」と読むよりも風情を感じますね